



国際交流のひろば

第232号 2022年4月

令和4年度留学生オリエンテーション

4月27日（水）12時から人104において、4月入学の留学生を対象としたオリエンテーションを実施しました。

「4つの留学生支援方針」「留学生履修プログラム」「修学・生活上の諸手続き」「宿舎入居の注意」「研究不正について」など佐藤留学生支援専門部長及び担当職員から説明がありました。

新入留学生のみなさんは熱心に耳を傾けていました。



よろしくお願いします!

4月に入学した留学生は中国9名、台湾2名、韓国、インド、カザフスタンの各1名、計14名です（未渡日の者含む）。

これにより、本学で学ぶ留学生の数は博士課程を含めると33名となりました。

サマルさんに自己紹介をお願いしました。

教員研修留学生 カリペノヴァ・サマル（カザフスタン）

みなさん、こんにちは。昨年11月に文部科学省のプログラムで来日しました。母国では英語と図書館の教師をしています。日本の教育制度は世界でもトップクラスなので、ここで勉強し、何が優れているのかを見ることが私の夢でした。学校現場で方法論やカリキュラムの知識を深めることを楽しみにしています。また日本発祥で広く普及している授業研究について学ぶことも楽しみです。日本の教師や教育が優れているのはなぜなのか、授業研究あるいは他の複数の要因なのか、自分自身で証明できるかもしれません。ここで貴重な知識と国際経験を得たいと思います。

日本に来てから、私は食べ物がとても好きになりました。日本食は世界で一番おいしいと思います。日本に滞在している間、もっと日本のことを見てみたいです。例えば、沖縄の島々、美しいビーチや風景です。私が英語を教え始めた頃、教科書に沖縄本島についての記事がありました。その記事は「The Mystery of Okinawa」と呼ばれ、沖縄の人々が健康で幸せに長生きする秘訣について書かれていました。それを読んでから、私はこの素晴らしい場所を自分の目で見てみたいと思うようになりました。さらに、広島や福岡などにも行ってみたいです。そしてもちろん、新しい友達を作って、今よりずっと上手に日本語を話したいです。

発行・お問い合わせ先

〒943-8512 新潟県上越市山屋敷町1番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
Tel: 025-521-3665（研究連携課 国際交流・地域連携チーム）